

スキマタイムズ

もっとお互いを理解するための場や時間を

日本自立生活センター自立支援事業所 2017年7月28日発行 第76号

居場所づくり勉強会 第48弾 終活問題

人工呼吸器は終末期か？

「終活」とは、遺産や葬儀など自分の死後のことや、自分が将来、生命維持装置をつけるかどうかという生死の選択について、自分の意志を明確に示し、準備していくこととされています。

この4月に、京都市から「終活リーフレット」が配布されました。(インターネットで「京都市 終活リーフレット」で検索)その内容は、私たち障害者の心を深く傷つけるものでした。

私たちのまわりには、人工呼吸器や胃ろうなどの医療機器を使用しながら地域で生活している仲間がたくさんいます。このリーフレットでは、そうした医療機器を使用して生きることを、終末期とみなしています。

「生きる」ということ、「命」というものについて、これまで真剣に考えてこず、まったく経験や知識、情報がない人たちに、このような気軽な形で、自分の命の選択をうながしてもいいのでしょうか。

今、行政が行うこと、私たちが考えるべきことは、どんな状態にあってもすべての市民が尊厳ある生を送り続けることを支援することではないでしょうか。

今回の勉強会では、私たち、ひとり、ひとりの大切な「命」について、また、自分自身の「終活」をどのように考えていくのか？みなさんと考えていきたいと思えます。

▶ 日時：8月22日(火)

14:00~16:00

▶ 場所：JCIL 事務所(油小路)

▶ 参加費：無料

▶ 担当：小泉

京都市の終末期医療「事前指示書」
安直で不適切、回収を
南区の障害者団体が意見書



終末期医療の事前指示書などの配布中止や回収を求める意見書を市の担当者に提出した日本自立生活センターのメンバーら(京都市中京区)

京都市が配布している終末期医療の「事前指示書」と関連リーフレットに対し、障害者団体「日本自立生活センター」(南区)は27日、「上から目線の一方的なもので、あまりにも安直で不適切」として、配布中止と回収を求める意見書を市に提出した。

事前指示書とリーフレットは、人工呼吸器や、胃ろうなどの人工栄養法に関する希望を医師や家族らと共有できるよう、4月から区役所などで配布している。

意見書は、「早くから遺言を書いておきなさいと督促するもので、元氣な健康者の発想以外、何ものでもない」と指摘。若い頃から人工呼吸器や胃ろうを使う重度障害者は医師や家族、支援者とともに悩みながら生きてきたとして、「行政が行うことは、拙速な死への勧めではなく、すべての市民が尊厳ある生活を送り続けることの支援ではないか」と訴えている。

同センターの矢吹文敏代表は「かかりつけ医や家族、宗教家らから考えようと言われるのはまだ分るが、行政から言われる筋合いはない。障害者の意見を聞くなどして丁寧な仕上げた形跡もなく、対応を求めたい」と話している。(日山正紀)

2017.04.28 京都新聞

日本自立生活センター自立支援事業所 編集担当:岡山・橋口

TEL:075-682-7950 E-mail:jcil-kyoto@jcil.jp URL:http://www.jcil.jp/zigyosho/index.html



納涼祭



★日時:8月21日(月)17:00～

★場所:松の間

★メニュー:たこ焼き・お好み焼き

食べたい物・飲み物がある人は持ち寄ってね!

★参加費:300円

★申込み:小松、吉武(当日参加もOK)



今年のキャンプは石窯ピザや野菜カレー手作りなど
メンバーこだわりの調理企画、キャンプファイヤーや
天体観測など、とっておきの企画を模索中♪

みんなでとにかく楽しも～★

今年のキャンプを一緒に盛り上げてくれる
「あなた」を大・大・大募集♪

第42回 車いすと仲間の会 研修キャンプ

◆キャンプ当日について◆

【日時】 9月1日(金)～9月3日(日)

【場所】 京都でてこいランド
(JR山陰線下山駅徒歩20分)

【参加費】

日帰り 1,500円 (BBQを食べる方は2,000円)
1泊2日 3,500円 (BBQを食べる方は4,000円)
2泊3日 6,000円

例) 2泊3日の場合、朝食2回、昼食2回、夕食2回(うち1回バーベキュー)がついています

※学生の方は場合により応相談です!!
※参加費には、宿泊費・食費が含まれます!!

◆キャンプ実行委員会について◆

【活動期間】 4月～10月

【活動頻度と内容】

- ・週1回程度、会議を開催し企画などについて話し合っています。
 - ・キャンプに向けたカンパ活動を行っています。
 - ・実行委員のメンバーやキャンプ当日の参加者・サポーターの募集活動を行っています。
- ※年齢・国籍・性別・障害の有無は問いません。

★興味のある方は「車いすと仲間の会」まで

TEL: 075-671-8484 FAX: 075-671-8418

E-mail: jcil@cream.plala.or.jp

担当者: 宇田隆 下林慶史

相模原事件から一年！？ これからの課題は？Part63

自立生活満喫中のリツコさん
でもあんまり難しい話は苦手…



暑い日がつづくねー。
体調くずさないように気をつけないと。

そうだね。
ところで、この前の7月26日、相模原の事件から、一年だったね。ニュースや特集、けっこうやってた。

障害者はいない、とか、死んだほうがいい、とか言われて、実際に殺されてしまった事件。
決してひとごとでないもんね。

わたし、小学校のころから、障害があることで、ひどいじめにあってきた。障害者がこの社会の中で、どんなひどい仕打ちを受けてるか、身に染みて知っている。私にとっては、今回の事件は、正直、驚きでなかったようにも思う。

うん。正直、昔のことをふりかえると辛い。社会のだけれども、私のことなんて助けてくれなかった。でも今は、この社会の中で、私にも役割があって生きてるって思えるかな。

うん。
一部の人は、介護制度とか整って、確かに地域社会で生きられるようになってきたけど、まだまだ親元や施設でしか暮らせない、と思っている人も多いよね。
社会の中に出る機会がほとんどない。

事件はショックやけど、私たち、やっぱりひるまずに、街に出て、堂々と生きていかないといけないんだね。

そうなんだ。行きます！

障害者制度改革について
勉強中のタクオさん
小難しいこともやさしく(?)解説



そうだね。クーラーとかも、頼りすぎずに上手に使ってあげたいね。

うん。各地で追悼集会も行われてたね。
事件のことを忘れずに、これから自分たちがどう生きていくのか、考え続けていきたいね。

ほんとに。社会的には、よくわからない特殊な事件とみなされているかもしれないけど、決してこの社会が今回の事件を黙認したり、是認したりしてはいけない、風化させてはいけないよね。

そうだね。いまだ、たくさんの方が、障害があることを理由に、大規模施設に入所しているしね。社会が、まだまだ障害者のことを知らなさすぎる。障害者がどんな立場におかれているか、知らなさすぎるよね。

うん。そういう辛いこと、知られてない。でも事件から一年たって、障害者についての報道のあり方も変わってきたところもあるかも。以前は、障害者の多くが施設に入所しているなんて、ほとんどの人が知らなかった。あるいは、入所していて、専門家(?)にみてもらっていて、安心なんじゃない、程度の認識だった。でも、最近は、なんで障害者は施設に入所しているんだろう？地域で暮らし続けることができないのはどうしてだろう？どうしたら、地域でみんなと一緒に暮らしていくことができるだろうか、ということが報道されるようになってきた。

うんうん。たくさんの方が街に出て、多くの人と出会い、ふれあうこと。それが一番大事だね。自然に街にとけこんでいたら、今回みたいな事件は起きないはず。

うん。そのために、介助や支援もとても大事だね。とっても大事な仕事だね。
ところで、今度、8月1日に、相模原事件に関する勉強会するよ。障害者がこの社会の中でどのように扱われてきたか、その歴史と今を勉強する勉強会、ぜひ来てね。



相模原殺傷事件から1年

事件をうんだ「障害者はいない」という考え方（優生思想）について考える

講師：大谷いづみ（立命館大学教授）

日時：8月1日（火）13：30～16：00

場所：日本自立生活センター事務所（油小路）

参加費：無料 担当：渡邊

7月26日で、施設に入所していた障害者19名が殺害された相模原事件から、一年がたちます。

相模原事件は、「障害者はいない」という考えから、障害者が多数殺害された事件でした。この「障害者はいない」という考えは、人の命に順番をつける「優生思想」と強く結びついて、社会の中のいたるところに広がっています。隔離された場所にある入所施設、安楽死や尊厳死をめぐる政治家や経済界の言説、それらは「障害者はいない」という考えのあらわれではないでしょうか。また過去にはナチスドイツで、優生思想に基づき実際に国家ぐるみで障害者が大量に抹殺されたこともあります。

今回、事件から一年たったことを受け、「障害者はいない」という優生思想について考える勉強会を開くことにしました。

尊厳死・安楽死をめぐる言説を研究しつつ、ナチスドイツでの障害者大量殺りくの現場も訪問されたことのある、立命館大学の太谷いづみさんをお招きします。

相模原事件は、決して特殊な事件ではなく、障害者をめぐる社会のあり方や歴史と地続きの事件です。事件をうむ社会の背景について、考える時間をみなさんとともにもうけたいと思います。

こころとからだをすっきり！ヨガタイム

ヨガで自分の身体と向き合ってみませんか？ヨガの目的はきれいなポーズをとることではありません。その日の身体がどんなふう動くか動かないか、意識を自分に向ける時間です。呼吸が深くなり、肩こり、腰痛、疲労感もやわらぎます。もちろん腰痛予防にもいいですよ！ぜひ参加してみてください♪ 講師は石田久美さんです。

- ★ヨ ガ：全身をうごかすヨガ
- 日 時：8月21日（月）
17：00-18：15（OPEN16：45）
- 場 所：油小路事務所2F
- 持ち物：動きやすい服装・タオル・飲み物
- 参加費：無料



* このヨガクラスは、JCIL自立支援事業所の利用者と家族・介助者を対象にしています。